科目ナンバリング	U-LAS60 10004 OJ17						
授業科目名<英訳>	統合型複合科目（統合群i） ：大学で学ぶ　YU01 Integrated Liberal Arts and Science with Small Group Seminars (Interdisciplinary Sciences i) :Introduction to University Study YU01			担当者所属職名・氏名	国際高等教育院 特定教授 楠見　孝 農学研究科　教授　　佐々木　努		
群	統合科学科目群	分野(分類)	統合科学			使用言語	日本語
旧群		単位数	4単位	週コマ数	2コマ	授業形態	講義＋演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	月5・水5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

教科書に書かれていることは常に正しいのか。論文で主張されている理論に弱点はないのか。専門家の見解は本当に妥当なのか。大学での学びでは，こうした問いが出発点となる。学術の世界では定説が覆され，複数の理論が対立し，新たな発見が従来の理解を書き換える。与えられた知識を獲得するだけでなく，自ら問題を発見し，既存の主張を吟味し，根拠を検証する。これが批判的思考であり，大学での学びに不可欠な姿勢である。

本統合型複合科目では，講義において，大学での学びの特徴や重要なスキル，それを支える批判的思考について学ぶ.そして，受講者は4つの少人数演習のいずれかに参加することによって，講義に関連するテーマを，討論や実習などを通してより深める。さらに，4つの少人数演習の担当者が講義においても，各1回の話題提供を行うことによって，全ての受講生が4つの演習のエッセンスを理解できるようする。

具体的には，講義では，第一に，大学での学びの特徴（1回）を理解し，そのために必要なスキルとしてリテラシー（2回）と，批判的思考を身につけることの重要性（4回）や知識習得と論理的な考え方(7回)を説明し，基本的なスキルを身につける。第二に，質問や発表の仕方(3回)，思考モードのシフト(5回)，インターネットや生成AIを活用した文献検索の仕方(6回)，学術書や論文の読み方(8回)，レポートの書き方(10回)について，身につける。第三に，辞典を批判的に活用すること，科学報道を理解することについて学び（9回），文理を融合した思考法を身につける。

そして，上記の講義に関連したテーマについて，4つの少人数演習に分かれて，毎週並行して少人数演習に参加して，講義の内容をさらに深める。

11回，12回には，4つの異なる少人数演習の学生からなるグループに分かれて，合同演習を行う。講義に関連するテーマを自分たちで設定して，講義と演習で学んだことを踏まえて，議論を発展させる。13回，14回にはその成果を発表し，全体討論を実施して，まとめを行う。

○統合型複合科目分類　【文・理】

主たる課題について文系分野の要素が強く、副たる課題については理系分野の要素が強いと考えられるもの

[到達目標]

大学で学ぶための土台として，大学の学びの特徴と学問と研究活動の全体像を理解し，大学での学びにおいて重要な批判的な思考を身につけ，読解，質問，文献検索，研究，ライティング，発表など基本的スキルを着実に身につけることを目指す。

[授業計画と内容]

（この授業では、講義と少人数演習を併せて学びます。講義のみ、少人数演習のみの出席では授業の到達目標に達しません。なお、このシラバスでは共通の講義部分と、少人数演習・A班「研究思考による課題解決」（担当：佐々木）の授業計画と内容を記します）

統合型複合科目（統合群i）：大学で学ぶ　YU01(2)へ続く↓↓↓

◆講義　　月曜５限・（共北32）
第1回　イントロダクション：高校までの学びとの違いとは（楠見）
第2回　大学で学ぶとは：アカデミックリテラシーを身につけるには（楠見）
第3回　質問と発表のやり方について（佐々木）
第4回　批判的思考とは（楠見）
第5回　思考モードをシフトする：受動的課題解決から自発的課題発見へ　(藤田)
第6回　文献検索にインターネット・生成AIを活用するには：デジタル・メディアリテラシー（楠見）
第7回　知識の修得とその活用―考えるとはどういうこと？(奥村)
第8回　批判的に学術論文を読むには（楠見）
第9回　辞書は信頼できるか，科学報道は信用できるか (宇佐美・沼田)
第10回　批判的にレポートを書く・発表するには（楠見）
第11回　合同演習１（4つの演習の学生からなるグループが最終発表に向けて活動）（楠見）
第12回　　合同演習2（4つの演習の学生からなるグループが最終発表に向けて活動）（楠見）
第13回　4つの少人数演習の学生からなるグループが最終発表と討論1（楠見他）
第14回　4つの少人数演習の学生からなるグループが最終発表と討論2，まとめ（楠見他）
第15回　フィードバック（楠見）

Key Word: 批判的思考，アカデミックリテラシー，リサーチリテラシー

◆少人数演習
A班「研究思考による課題解決」（担当：佐々木）　水曜５限・（農学部総合館W420教室(北部構内)）
　研究とは，世の中にまだ答えがない課題を解くことである。自然科学研究に用いる思考法は，様々な課題解決に活用できる。そこで本セミナーでは，講義と演習を通して研究思考の訓練を行い，まだ答えがない課題を解いていく練習を行う。
　自然科学研究では，問題を分析して課題を抽出し，様々なアイデアを出して，結果が出るまで試行錯誤を繰り返す。そして，自分一人で解決できない時に，他者の協力を引き出すためにコミュニケーションを取り，皆のエフォートを目標に向けてまとめていくリーダーシップを発揮して，「世界初」を目指す。
　この「コミュニケーション，問題分析，創造的思考，行動力，リーダーシップ」という５つのスキルは，自然科学研究にとどまらず，どの分野にも適応可能である。今後の学生生活や卒後の社会生活全般において活用できるこれらのスキル・概念を，受講生に修得してもらうことを目的とする。

　そこで本セミナーでは，これらの５つのスキルについて，講義と演習を通して学ぶ（実験は行わない）。自分が解消したい課題や身近な困りごとなど，各自が主体的に設定するテーマに対して，各回で学んだスキルを適用して練習してもらう。
　５つのテーマについて、情報提供と学生発表に基づくディスカッションを行う予定である。最終回はフィードバックの機会とする。
（テーマ１）コミュニケーション
　伝え方（聞き手の意識，分かるとは，分かってもらうための準備）
　聞き方（聞き方の意義と種類，尋ね方）
（テーマ２）分析法
　問題解決の過程（課題発見，情報の収集と吟味，分析，仮説構築）
（テーマ３）創造性

統合型複合科目（統合群）：大学で学ぶ　YU01(3)へ続く↓↓↓

統合型複合科目（統合群i）：大学で学ぶ YU01(3)

創造のプロセス，必要な要素，セレンディピティ
（テーマ４）行動力
モチベーションの種類、目標設定、始める準備、やり抜くコツと捉え方
（テーマ５）リーダーシップ
模範的リーダーシップ5つのポイント、リーダーへと成長するためのステップ

[履修要件]

特になし。特別な予備知識は必要とせず，文系・理系を問わず全学部生向けに授業を行う。

[成績評価の方法・観点]

講義については，14回の授業での平常点（出席と参加，課題提出の状況など）50%とグループ活動と最終発表で50%で評価を行う。講義と少人数演習をあわせた授業全体の成績は，1：1の割合で，両担当教員が相談して評価する。少人数演習における各評価項目の割合の詳細は，初回の授業で説明する。フィードバック授業は評価の対象外である。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
Lesley-JaneEales-Reynolds他 楠見孝, 田中優子訳 『大学生のためのクリティカルシンキング:学びの基礎から教える実践へ』（北大路書房）ISBN:978-4762830884
その他は，授業中に紹介する.

[授業外学修（予習・復習）等]

授業資料の要点を予習・復習する。

[その他（オフィスアワー等）]

授業で学んだことを，大学での学び全体に活かして実践して，振り返ることを期待する。
授業全体のオリエンテーションのための動画を公開するので，視聴しておくこと。詳細はKULASIS「全学共通科目」のお知らせを確認すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]